

# TCH療法を受けられる患者様へ

## TCH療法について

この療法は、トラスツズマブ(商品名;ハーセプチン,H)、ドセタキセル(T)、カルボプラチン(C)の3種類の注射薬を使用します。

トラスツズマブは、がん細胞の表面にあるたんぱく質に結合して、がん細胞の増殖を抑える薬です。ドセタキセルとカルボプラチンは、がん細胞に直接作用し、がん細胞の増殖を抑えます。

## 投与スケジュール今日 ( / ) は サイクル 日目

1日目は3種類、8日目と15日目はトラスツズマブのみ投与します。21日間を一区切り(1コース)とします。

抗がん剤  
投与  
1日目

休薬  
20日間

1コース目

抗がん剤  
投与  
1日目

休薬  
20日間

2コース目

ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

## 点滴で投与する薬について

トラスツズマブ  
( mg)

分子標的薬です。  
初回90分、2回目以降30分かけて投与します。

デキサメタゾン  
パロノセトロン

吐き気とむくみを予防します。  
30分かけて投与します。

ドセタキセル  
( mg)

抗がん剤です。  
60分かけて投与します。

カルボプラチン  
( mg)

抗がん剤です。  
60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。  
5分かけて投与します。



ドセタキセルを続けていくと爪がでこぼこになったり、もろくなります。冷やすことで予防できますので、ドセタキセル投与前からフローズングローブ・ソックスを着用します。

## 副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応  
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐  
食欲不振  
便秘 倦怠感

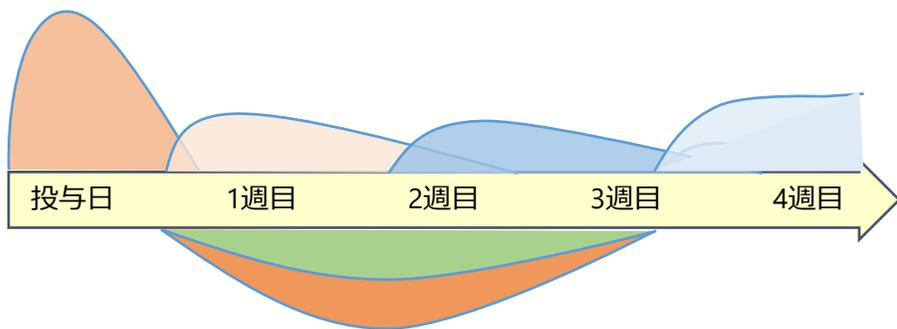
気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

脱毛 浮腫  
味覚の変化  
末梢神経障害  
爪の変形

髪の毛は、治療終了後半年くらいで再び生えてきます。  
手足のしびれ、感覚が鈍くなるなどの症状が現れたら、お伝えください。



肝障害 腎障害

白血球減少  
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかりと行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。

## 内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			

吐き気とむくみ予防のお薬です。症状が無くても服用してください。